

第176回 東葛しぜん観察会

みんな集まれ！ 江戸川土手で 虫・コウモリ・星さがし

長谷川依子（松戸市）

日 時：2022年8月27日（土）16時30分～19時30分 天気：晴 33℃

場 所：松戸市江戸川土手（松戸駅西口）

参加者：32名（大人17名、子ども15名）

講師：渋谷 孝

担当指導員：長谷川（溪）・長谷川（依）・守永

参加指導員：7名

コロナ禍で3年ぶりの開催となった観察会は瞬間に定員に達し、キャンセルもなし。人々の期待の大きさを感じる一方、初の行動制限無しの夏休みで、コロナ感染者数の推移と日毎に変わる天気予報を横睨みしながら快晴の当日を迎えた。

まずは虫捕りタイム。除草されていない高い草丈が幸いしたのか大きなトノサマバッタ（緑・褐色・レアな黒色）、ショウリョウバッタをはじめツユムシ、クサキリ、シオカラトンボやウスバキトンボ、アジアイトトンボなど参加者に配ったケースは虫で一杯。集合してチャック付き袋に1匹ずつ入れ、4.5倍や7倍のバグズルーペで観察した。講師の渋谷さんが名前を書いたシールを袋に貼ってくださるので分かり易く、焦点合わせ不要の大きなバグズルーペは 虫の細部や顔、足のトゲまでじっくり観察できる。袋に入れるこの方法は、虫に負荷がかからず、観察もし易く、虫の怖い子どもも虫嫌いの大人も恐々ながらも安心して近くで観察できる良い方法だと思う。

その後は軽食を挟んでコウモリ＆一番星探しタイム。日が暮れてくると、久しぶりの晴天のためか高い所を飛んでいたアブラコウモリの超音波をバットディテクターが捉える。カチカチいう音に周りを見回し、コウモリを見つけて「あっ、来た！」と興奮する声が大人からもあがっていた。

途中で行われた子ども向け・大人向け其々のコウモリクイズは大いに盛り上がった。また その間に渋谷さん持参の先日落ちていたというアブラコウモリの実物や剥製標本を回し、手に取って間近で観て確認できたことは大いにその理解に役立ったと思う。

一番星見つけ競争は子どもが勝利！大人は少し遅れて見え始める。子どもの目には小さな虫も遠い星もよく見えるようだ。快晴・新月なのに星回りが今一つの今宵だが、その後全員が空を見上げて、渋谷さんの案内によるベガ・アルタイル・デネブをつなぐ夏の大三角形を確認した。

最後は音色聴き分けの鳴く虫観察タイムで、土手の下へ移動。草むらから聞こえる沢山の虫の音をバックに、エンマコオロギの澄んだ音色や、リリリ・・・と高い音色のカンタンはじめ、アオマツムシやツヅレサセコオロギなど、その音色・鳴き方・顔・全体の姿・鳴く目的について渋谷さんの解説が始まる。iPadを見たりケースに入った虫たちを実際に観察しながら、皆で耳を澄ませた。

19:30頃ようやく天空に上がってきた土星の観察は、渋谷さんのご厚意で、解散後、希望者対象に行うこととなった。ほぼ全員が参加され、大きな天体望遠鏡を覗くと真っ暗な中に浮かぶ土星とその環を観ることができた。子どもから大人まで皆さん興奮し、リアルな体験を喜んでいた。

虫捕りが楽しかった。苦手な虫が好きになった。あんなにアップで実物の虫を観たのは初めて。コウモリ～飛んでる姿が可愛い・こんな近くにいるなんてびっくり・声が聞けて感動。普段は何気なく歩いているだけだが、今日はじっくりいろいろ観察出来てとても新鮮な気持ち。なんとなく聞いていた虫の声がみんな違うことが分かった。全部楽しかったし驚くことばかりだった…などの感想。

大外れの天気予報でお天気に恵まれ、予定の全てができたしプラス土星観察まで面白がって頂き、楽しい観察会になった。あ～良かった！これも穏やかで丁寧な渋谷さんのお陰です。感謝！！



捕った虫を皆で観察